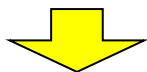


インフルエンザとコロナの同時流行に注意！

◆コロナ禍における流行状況

インフルエンザは、全国で約 5,000 ヶ所の定点医療機関*が毎週患者数を報告し、国立感染症研究所で発生状況を集約しています。

新型コロナウイルス感染症が日本で流行し始めてから、**インフルエンザの報告数が例年よりも大幅に減少！！**

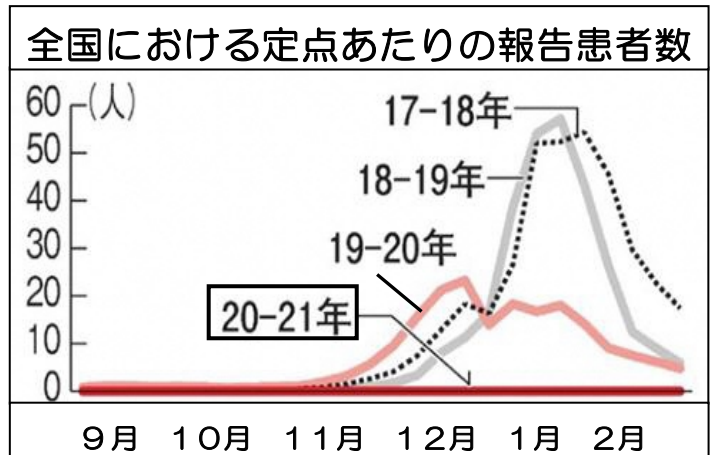


インフルエンザは、新型コロナと同じ感染経路（飛沫・接触感染）であるため

- ② **マスクの着用**
- ② **正しい手洗い（手指消毒）**
- ③ **3密回避（人との接触を避ける）**



の新型コロナウイルス感染症対策は、インフルエンザ予防にも有効です。



* 定点医療機関：一定の人口割合で定点として指定された医療機関

◆インフルエンザと似ている症状に注意！

初期症状は新型コロナウイルス感染症と似ており区別が難しいため、症状がある際は速やかに医療機関を受診することが大切です。

インフルエンザとその他の感染症との違い

	インフルエンザ	新型コロナ	かぜ
特徴的症状	突然の高熱*、咳、筋肉痛や関節痛を伴うこともある	発熱、咳、咽頭痛などに加えて味覚嗅覚障害、だるさなど	鼻水や咳、のどの痛みなど。熱は微熱程度
潜伏期間	1～2日	1～14日(平均5日前後)	さまざま
無症状での他者への感染	10%程度	数%～60%	さまざま
ウイルス排出のピーク	発症後、2～3日間	発症日前後	さまざま
重症度	多くは軽症から中等症(高齢者は重症化しやすい)	発症者の2割程度は肺炎を発症、3～4%は重症化。高齢者は重症化率が高い	重症化することはほとんどない
致死率	0.1%程度	2%前後	——

* 予防接種の有無などにより程度の差があります。

一般社団法人日本感染症学会提言「今冬のインフルエンザとCOVID-19に備えて」を参考に一部改変し作成 (2021年8月現在)



◆重症化・合併症にも注意！！

インフルエンザにかかると、持病が悪化するリスクが高くなります。また、重症化や肺炎などの合併症を併発する危険があります。

ハイリスク群 ← 新型コロナのハイリスク群でもあります！

- ・ 高齢の方
- ・ 肥満の方
- ・ 乳幼児
- ・ 妊娠中の方
- ・ 呼吸器の病気、心臓病、腎臓病、糖尿病など持病のある方
- ・ 免疫力が低下する病気のある方、免疫力が下がる薬を飲んでいる方



◆インフルエンザの予防接種が有効です

予防接種は、インフルエンザを発症するリスクを減らし、**発症したとしても重症化を防ぐことができます。**

○効果がでるまでに約2週間かかるので、**余裕をもって早めに受けましょう。**

予防接種を受けるか相談したい場合には、かかりつけの医師とご相談ください。

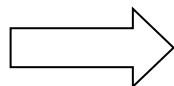
◆症状が現れたら、相談→受診を！

急な発熱など、何らかの初期症状が現れた場合は自己判断せず、医療機関（かかりつけ医）や「受診・相談センター」に相談しましょう。早い対応が、自分だけではなく周りの大切な人を守ることに繋がります。

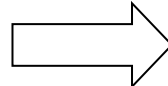
感染対策を継続して、インフルエンザも新型コロナウイルス感染症も予防しましょう！



急な発熱などの
症状がある



電話で相談



紹介された
医療機関を受診

早めの対応がとても重要です！症状がある場合はまずは相談しましょう！

受診・相談センター窓口：0120-567-747（24時間）

～RSウイルスの流行が続いています～

乳幼児が重症化しやすいRSウイルスが、6月下旬に流行のピークを迎えて以降も全国的に流行が続いています。予防には手洗い、咳エチケットが有効です。症状があれば早めに医療機関を受診しましょう。

発行日：令和3年10月18日

発行元：福島市保健所 保健予防課感染症対策係

住所：〒960-8002 福島県福島市森合町 10-1

電話：024-572-3152

HP 検索キーワード

福島市保健所 感染症